

調査番号		A-a-07-02			
名称	入子菱地桐花文金襴			貴重度～5	☆☆☆
調査年月日	2005/9/6	調査者	尾形充彦		銘記
製作地	日本製(?)	製作年	江戸(時期は?)		
織名称	金襴 3枚綾	法量縦	24.5	法量横	13.0
織耳	本裂地には見えず				
形状	八菱形(今、縦方向に2分割されている)→以下続き備考にあり				
用途	不明(裏に紺の和紙の断片付着。紙製又は和紙を貼った木製の箱に貼られていたか)				
紋様	入子菱つなぎの地文に桐の花葉文			素材	茶味のかかった黄土色
地色	茶味のかかった黄土色			染料・顔料	
織技法名	平				
染技法名					
地組織	平	耳部組織		耳部組織数	
地経系素材	絹	経系色	黄土	経系染材	?
経系 撚	なし	経系上撚		経系下撚	
経系密度	平均46本/cm	緯系素材	絹	緯系色	黄土
緯系染材		緯系撚	なし	緯系密度	平均26本/cm切箔を加えず
緯系上撚		緯系下撚			
織幅		織幅片耳			
地紋		地紋越仕様			
地紋組織	三枚綾(ただし、金の切箔を平地に押し込んで文様を出している)				
地紋文丈		地紋文釜		地紋カマ数	
地紋カマ種類		地紋文把吊			
上文		上文仕様		上文組織	
トジ組織		*裏トジ		経使用	
トジ		地搦トジ		地搦	
地総		地経使用トジ		別搦トジ	
別搦		別地		別経使用トジ	幅約0.1mmの細い経系が平組織に交互に入っている
別搦経素材	絹	別搦経色	白	別搦経上撚	引揃
別搦経撚・下撚	28本/cm	上文文丈		上文文カマ	
上文カマ数		上文カマ種類		上文文把吊	
絵糸	文様は全て金の箔系による	胴		縫取	
素材1		色1		染材1	
撚1		上撚1		下撚1	
密度1		素材2		色2	
染材		撚2		上撚2	
下撚2		密度2		素材3	
色3		染材3		撚3	
上撚3		下撚3		密度3	
素材4		色4		染材4	
撚4		上撚4		下撚4	
密度4		素材5		色5	
染材5		撚5		上撚5	
下撚5		密度5		箔系	
種類1	金	箔系撚1		箔幅1	0.2,0.25,0.3,0.35mm混在(0.3mm幅が多いが、バラバラの印象)
漆色1		芯糸材1		箔系色1	
箔系上撚1		箔系下撚1		箔系密度1	
種類2		箔系撚2		箔幅2	
漆色2		芯糸材2		箔系色2	
箔系上撚2		箔系下撚2		箔系密度2	
種類3		箔系撚3		箔幅3	
漆色3		芯糸材3		箔系色3	
箔系上撚3		箔系下撚3		箔系密度3	
備考					
解説	やや裂地が小さい。それほどの技法の金襴ではない。				